

## 最近経験した Wernicke-Korsakoff 症候群の 3 例

ふく ま ひろ かず おか だ かず のり やま ぐち たく や  
福 間 博 和<sup>1)</sup> 岡 田 和 悟<sup>1)</sup> 山 口 拓 也<sup>1)</sup>  
いわ た ゆう こ ふる や ひろ し  
岩 田 裕 子<sup>1)</sup> 古 家 寛 司<sup>2)</sup>

キーワード : Wernicke's encephalopathy, Korsakoff syndrome,  
Wernicke-Korsakoff syndrome, MRI, SPECT

### 要 旨

症例は、57歳、58歳、73歳のいずれもアルコール依存症のある男性であり、食事をとらず多量のアルコール摂取を続けたことを契機として Wernicke-Korsakoff 症候群を発症し、眼球運動障害、歩行障害、精神症状を認めた。画像所見では、MRI でビタミン剤を前投与されていた 1 例を除き、中脳水道、第 3・第 4 脳室周囲の高信号を、脳血流 SPECT では 3 例とも大脳半球の広範な脳血流低下を認めた。これらの画像所見と、Korsakoff 症候群の続発に関連が窺われた。Wernicke 脳症は、緊急治療を要する救急疾患であり、その診断と重症度、予後予測には MRI, SPECT 所見が有用であるが、高率に Korsakoff 症候群に移行するため発症予防が重要と考えられた。

### はじめに

Wernicke 脳症（以下 WE と略す）は、1881 年に Carl Wernicke の記載した意識混濁と眼球運動障害、歩行障害を呈した 3 例の報告に始まる。一方、Korsakoff 症候群（以下 KS と略す）は、ロシアの精神科医であった Sergei Korsakoff の 20 例のアルコール中毒者における健忘症状に関する 1887 年からの一連の記載に始まる。両者は、

ビタミン B1 (thiamine) 欠乏に起因する一連の疾患と考えられ、Wernicke-Korsakoff 症候群（以下 WKS と略す）として表記される。最近我々は、WKS の 3 例を経験し、MRI および脳血流 SPECT との関連において若干の知見を得たので文献的考察を含めて報告する。

### 症 例

症例 1 : 57 歳、男性。主訴 : 複視、幻覚、失見当識。現病歴 : 元々大酒家であったが 1 週間前より食事をとらずアルコール（日本酒 1 升/日）のみ摂取していた。入院 4 日前より複視、幻覚（亡

Hirokazu FUKUMA et al.

1) 大田市立病院神経内科 2) 同 内科

連絡先 : 〒694-0063 大田市大田町吉永1428-3